

東京大学
情報理工学系研究科 創造情報学専攻
修士論文

これこれについて
On blahblah

秋葉 創太
Sota Akiba

指導教員 本郷 情一 教授

2010年1月

概要

Abstract

This sentence is for English abstract. This sentence is for English abstract. This sentence is for English abstract.

目次

第 1 章	序論	1
第 2 章	本論	2
2.1	最初	2
2.2	次	2
2.3	最後	5
第 3 章	結論	6
発表文献と研究活動		7
参考文献		8
付録 A	ソースコード	11

第1章

序論

これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。

これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。

これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。

これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。

これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。これは、序論の文章である。

参考文献を引用してみる [1, 2]. もうひとつ引用する [3]. 日本語の文献 [4, 5] も引用する.

創造情報学専攻のウェブページを引用する [6].

第2章

本論

2.1 最初

2.2 次

2.2.1 下

これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。

表 2.1. 表のタイトル

列 1	列 2	列 3
項目 a1	項目 a2	項目 a3
項目 b1	項目 b2	項目 b3
項目 c1	項目 c2	項目 c3

図 2.1. 図のタイトル

論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。

2.2.2 その次

これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。

これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章^{*1}である。これは、本論の文章である。これは、本論^{*2}の文章である。

$$\sum_{k=1}^n = \frac{n(n+1)}{2} \quad (2.1)$$

これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。式 (2.1) より、結論が得られる。詳細は、図 2.1 を参照。

2.2.3 そのまた次

この節は、1 ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1 ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1 ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1 ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1 ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。

^{*1} 脚注はこのように書く。

^{*2} 脚注を入れすぎると読みにくくなるという意見もある。長文の脚注も避けるべきであるとの主張もある。適切な脚注になっているかどうか、十分検討すべきである。

4 第2章 本論

この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。

この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。

この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。

この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くさ

れる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。

この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。この節は、1ページすべてが文章で埋め尽くされる例を示している。

2.3 最後

これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。

これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。これは、本論の文章である。

第3章

結論

発表文献と研究活動

- (1) 秋葉創太. どれとこれがあれとそれか. あちらこちら研究会, 2007.08.09.
- (2) 秋葉創太, 本郷情一. あれそれを用いたこれこれの実装. なになに誌, Vol.1, No.1, pp.1–10, 2007.
- (3) 秋葉創太. あちらがこちらより青い理由の解析. どことこシンポジウム, 2008.01.23.
- (4) Sota Akiba, Joichi Hongo. Implementation of blahblah. In Proceedings of 5th Workshop on Geemie (WOG2008). pp.351–365, 2008.

参考文献

- [1] Evgenia Sendova. Are there rules for creative-teaching informatics? *T.H.E. Journal*, Vol. 17, No. 5, pp. 68–70, 1990.
- [2] Donald Knuth. *The T_EXbook*. Addison-Wesley, Reading, MA, 1986.
- [3] Lars Bollen, Andreas Harrer, Heinz Ulrich Hoppe, and Wouter R. van Joolingen. A broker architecture for integration of heterogeneous applications for inquiry learning. In *Proceedings of the 7th IEEE International Conference on Advanced Learning Technologies*, pp. 15–17, 2007.
- [4] 奥村晴彦. [改訂第4版] L^AT_EX 2_ε 美文書作成入門. 技術評論社, 2007.
- [5] 沖野浩二, 南保英孝. 情報空間におけるセキュリティとセンシング. 電気学会誌, Vol. 126, No. 1, pp. 20–23, 2006.
- [6] 創造情報学専攻ウェブページ. <http://www.ci.i.u-tokyo.ac.jp/top/index.html>, 2008.

付録 A

ソースコード

```
int main () {  
    ...  
    ...  
}
```